

日本エム・イー学会平成16年度第2回理事会議事録

日時：平成16年7月16日（金） 14：00～16：00

会場：東京 学士会分館8号室

<出席者>

会長：堀 正二

副会長：菊地 眞、辻岡克彦

理事：赤澤堅造、石原 謙、稲田 紘、上野照剛、梶谷文彦、神谷 瞭、佐久間一郎、佐藤俊輔、土肥健純、林紘三郎、仁田新一、山越憲一、鎗田 勝

幹事：北畠 顕

特別委員長：安藤讓二、小野哲章

支部長：浜田良機（甲信越）

幹事：近藤寛也

事務局：佐山 岳史

<欠席者>

理事：岡田正彦、砂川賢二、林紘三郎、

監事：星宮 望

特別委員長：楠岡英雄（BME）、山本克之（論文誌）

支部長：栗城真也（北海道）、佐藤正明（東北）、佐々木和男（北陸）、山内一信（東海）、寺本 滋（中国・四国）、村上輝夫（九州）

幹事：守本祐司

開会挨拶 堀

1. 理事会成立が確認された。12名出席

2. 平成16年度第1回理事会議事録（16-2-2）が承認された。

3. 会員入退会状況：入退会希望者リストが回覧された。この結果、正会員19名減で2,673名、正会員海外1名増41名、準会員（国内）11名増で387名、準会員（海外）1名となった。維持会員数は2社2口減、26社40口である。顧問3名減16名、名誉会員41名である。

4. 第10回第1種ME合格者承認並びに実施状況報告： 稲田理事より実施報告がなされた、東京大阪2会場で行われ前年比125%の受験者数であった。受験者435名のうち総合合格者93名、ME基礎論合格者16名、ME機器論合格者62名が承認された（16-2-4）。

5 . 広報委員会委員案承認の件 : 広報委員会の委員変更案について赤澤理事より報告がなされ承認された (資料 1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) 。

6 . 国際委員会委員案承認の件 : 国際委員会委員の変更なく、資料記載のとおり承認された。(資料 1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) I F M B E 委員の届けをした旨、辻岡副会長より報告がなされた。

7 . M E 研究推進委員会委員案承認の件 : 資料記載のとおり承認された。(1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通))

8 . 国際誌編集委員会委員案承認の件 : 資料記載のとおり承認された。(1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通))

9 . クリニカルエンジニアリング委員会委員案承認の件 資料記載のとおり承認された(1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) 。

臨床 M E 専門認定士の認定更新のための講習会の件 : 小野委員長より実践 M E 技術講習会の実施報告がなされた (1 6 - 2 - 9) 。

臨床 M E 専門認定士更新制度について稲田理事、小野委員長、石原理事、山越理事により検討し理事会に提案することが承認された。

1 0 . 医用研設立準備委員会委員案承認の件 : 上野理事より南谷晴之先生らの追加があった旨報告され、承認された。(1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) 。

1 1 . 教育委員会委員案承認の件 : 石原理事を副委員長とし、各委員については資料記載のとおり承認された (1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) 。

1 2 . 平成 1 6 年度選奨各賞選定委員長選出の件 : 選奨委員会委員、選奨委員会委員長名について報告され承認された (1 6 - 2 - 5 (- 1 2 共通)) 。

1 3 . 平成 1 6 年度会務分担一部修正の件 : 総務辻岡副会長より会務分担修正案が示され承認された (1 6 - 2 - 1 3) 。

1 4 . 関連産業界及び他学会との連携強化 : 菊池副会長より学会としての組織的活動のため、産業界及び他学会との連携強化常設部会(委員会)設置及び提案がなされ (1 6 - 2 - 1 4) 委員

会を立ち上げることが承認された。次回理事会に委員名簿や関連団体など素案を提出することとなった。

15. 生体工学シンポジウム2004の件：赤澤理事より9/23, 24予定の生体工学シンポジウム2004について報告がなされた。来年度もほぼ同様の形態で開催し、3回終了した時点でそのあり方に検討することが承認された。

16. 第18回秋季大会準備状況報告：石原理事より秋季大会準備状況の報告 関係省庁の内諾を得た段階である。関連施設のツアーを企画している。特許やベンチャー相談コーナーを設ける予定であることが報告された(16-2-16)。

17. 第44回大会準備状況報告：上野理事より第44回大会、第6回アジアパシフィックBME会議同時開催準備状況の報告がなされた(16-2-17)。日韓シンポジウムの共催について検討することとなった。45回大会長候補学術委員・総務委員が検討し次回理事会に推薦する予定とされた。

18. 理事会日程確認の件：今後の理事会日程及び開催場所が確認された(16-2-18)。

19. その他：

選挙規定の改正について次回までに検討することとなった。

サマースクールの準備状況の報告がなされた。修了証書、感謝状にME学会のロゴを使用することが承認された。

理事会の旅費については当面至急しないことが、確認された。

学会事務センターの経理不正事件に関して、学会事務センターから説明とお詫びが行われた。(別紙)

鎗田理事より財務報告がなされた。財団法人日本学会事務センターへの預け金、銀行預金の残高確認の必要性があり財務委員鎗田理事、砂川理事及び稲田理事、公認会計士の4名で学会財産管理検討ワーキンググループを立ち上げ、現状の把握、今後の対策を検討することが堀会長より提案され、承認された。

(配布資料)

- 16 - 2 - 1 平成16年度第1回理事会議題
- 16 - 2 - 2 平成16年度第1回理事会議事録(案)
- 16 - 2 - 3 平成16年度第2回理事会入退会審査対象者
- 16 - 2 - 4 第10回第1種ME技術実力試験検定実施報告
- 16 - 2 - 5 社団法人日本ME学会 平成16年度各種委員会一覧(-12共通)
- 16 - 2 - 9 実践ME技術講習会(第3回)実施報告
- 16 - 2 - 13 日本エム・イー学会平成16年度会務分担修正(案)
- 16 - 2 - 14 日本エム・イー学会の活性化に向けて - 関連産業学会及び他学会との連携強化常設部会(委員会)設置の提案
- 16 - 2 - 17 第44回日本エム・イー学会大会準備状況
- 16 - 2 - 18 平成16年度理事会日程決定のお知らせ
- 追加資料 第18回日本エム・イー学会秋季大会 開催のお知らせ
- 追加資料 サマースクール関連資料
- 追加資料 財産目録(平成16年3月31日)

以上

別紙

日本エム・イー学会平成16年度第2回理事会

日本学会事務センター山口常務理事より会費預かり金に関する新聞報道についての説明：

会費徴収代行で約30億円のキャッシュフローがあり、2004年3月31日時点では残高16億円であるべきところ実際には11億円であった。過去約12年にわたりチェックされていなかったが昨年の秋に会計上の問題に気づき調査を始めたところ今回明らかとなった。資金支援を受ける計画もあるので、現在財政が逼迫しているため急激な資金引き上げ等は差し控え従来どおりの支出・資金移動でお願いしたい。

すでに資金引き上げを行っている学会はあるか。2 - 3件の全額引き上げの要請もあったが、思いとどまってもらっており、現在特に大きな動きは無い(山口氏)。

預かり金の残高の証明を出すことは可能か。3月末時点のものは出せる(佐山氏)。

口座凍結の恐れはあるのか。ありえない(山口氏)。

会計処理も含めて事務センターの作業は滞りなく行われるのか。滞ることはありえない(山口氏)。

証拠保全のため会計書類などが押収される可能性があるため、「ありえない」ことはないのではないか(稲田理事)。

個別学会の口座に入れるとの説明があったかすでに施行されているのか。未だである(山口氏)。

今後振り込まれた会費などが流用される恐れは無いのか。他学会などの支払いに流用される可能性がある(山口氏)。そのようなことが起こらないように外部からの資金調達を考えている(山口氏)。